

<第 11 回世界レジャー会議>

第 11 回世界レジャー会議と第 1 回ワールドレジャーゲームズ報告

師岡文男¹

A report on 11th World Leisure Congress and 1st World Leisure Games

Fumio Morooka¹

2010年8月29日(日)～9月2日(木)、ソウルの東55km、ドラマ「冬のソナタ」のロケ地として有名になった大韓民国江原道・春川市(ChunCheon：人口30万人、面積ソウルの1.8倍)の江原大学(Kangwon National University)に40カ国から3,640人のレジャー研究者と関係者が集まり、「第11回世界レジャー会議」が開催された。この会議は、1970年に「レジャー憲章」を制定し、現在国連のレジャー問題アドバイザーを務める世界レジャー機関(World Leisure Organization：WLO 1952年創立)が原則2年に1度開催する世界最大のレジャー・レクリエーションの国際会議で、1988年に第1回大会がレイクルイーズ(カナダ)で開催されて以来、第2回シドニー(オーストラリア)、第3回ジャイプール(インド)、第4回カーディフ(英国)、第5回サンパウロ(ブラジル)、第6回ビルバオ(スペイン)、第7回クアラルンプール(マレーシア)、第8回ブリスベン(オーストラリア)、第9回杭州市(中国)、第10回ケベック(カナダ)と回を重ねてきた。アジアでの開催は今回で4回目となる。今回の総合テーマは「レジャーとアイデンティティー」で、5日間に7人のキーノート・スピーチと9つのセッション(シンポジウム・ワークショップ・口頭発表)、6つのポスターセッションが実施され約700題の発表があった。日本人は16題の口頭発表と7題のポスター発表を行ったが、日本レジャー・レクリエーション学会の

田中伸彦理事(東海大学教授)は、3日目に「日本の里山における森林エコシステム・サービスとツーリズムの可能性について」ポスター発表を行った。

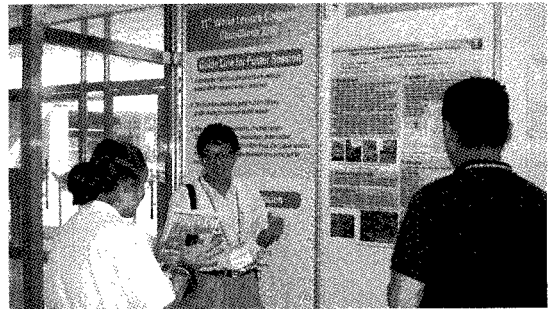


写真1 田中伸彦 JSLRS 理事(中央)のポスター発表

今回の会議は、韓国保健体育レクリエーション・ダンス学会(KAHPERD)がソウルオリンピック記念事業として国からの援助を受けて海外から研究者を招待して開催している「国際スポーツ科学会議(ISSC)」と合併(8月29～31日)する形で行われ、海外から23人の研究者がゲストスピーカーとして招かれた。筆者は、KAHPERDに加盟している韓国レジャー・レクリエーション学会(Korean Society of Leisure and Recreation)が主管するレジャー・レクリエーション学専門分科会のゲストスピーカーとして招かれ、「日本レジャー・レクリエーション学会46年の歴史と日本のレジャー・レクリエーション研究の動向」につ

1 上智大学
Sophia University

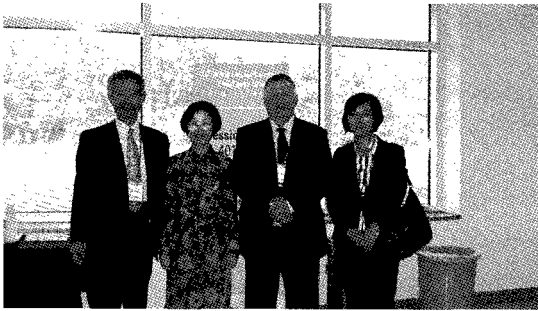


写真2 左から筆者、金 KSLR 会長、
ケーシー WLO 会長

いて発表した。発表後、多くの質問があり、日本のレジャー・レクリエーション研究に対する韓国の研究者の関心の高さに驚いた。また、参加者の大多数は韓国人であったが、発表はすべて英語で行われ、発表後、座長が発表内容を韓国語で要訳する形で進行された。韓国の大学にはレジャー・レクリエーション学の博士号をアメリカで取得した大学教員が少なからず存在していることが印象的であった。今回、筆者が発表したことがきっかけとなり、韓国レジャー・レクリエーション学会の金俊姫 (KIM, Jun Hee) 会長を団長とする大学教員と大学院生計7名が11月26日(金)～28日(日)東京農業大学で開催された日本レジャー・レクリエーション学会大会に参加し、大学院生4名が英語でポスター発表を行った。金会長は、今後両学会が交互に発表者を派遣して日韓の学術交流を深めていくことを提案され、日本レジャー・レクリエーション学会としても前向きに検討していくことになった。今回この会議に参加して分かったことは、韓国にはレジャー・レクリエーション関係の学会が3つ存在することである。その3団体とは以下の通りである。

(1) 韓国レジャー・レクリエーション学会 (Korean Society of Leisure and Recreation: KSLR) — 韓国保健体育レクリエーション・ダンス学会 (KAHPERD) に加盟する学会。1984年創立。創設者の高麗大学 Kim, O-Jung 教授 (故人) は日本レクリエーション学会会員であった。日本レジャー・レクリエーション学会との交流再開を希望している。

(2) 韓国レジャー文化学会 (Korean Society of Leisure and Culture Studies : SLCS) — 春川市と共

に今回の世界レジャー会議のスポンサー。

2000年創立。日本余暇学会と協力関係にある。(3) 韓国スポーツ・レジャー学会 (Korean Society of Sports and Leisure Studies : KSSLS) — 今回の世界レジャー会議には直接は関係していない。1990年創設。



写真3 ワールドレジャートレードショー会場

今回韓国春川市は、新たな試みとして世界レジャー会議と並行して、広大な衣岩レジャースポーツタウン (Songam Sports Town) 内に5,600 m²の大展示場を作り、約300のレジャー・レクリエーション関係ブースを設置 (出店料無料) して、「ワールドレジャートレードショー」を開催した。また、同会場と衣岩湖・大龍山で「レジャー体験を通じた生活の質の向上」をテーマに「第1回ワールドレジャーゲームズ」が開催され、水上スキー、ウエークボード、ダンススポーツ、スポーツクライミング、アクションスポーツB3 (スケートボード・バイシクルモトクロス・インラインスケートのエクストリームスポーツ3種目)、パラグライダー、ビリヤード、インラインスケート、スポーツフィッシング、模型飛行機、B-boy (ブ



写真4 ワールドレジャーゲームズ
「フロアボール」体験コーナー

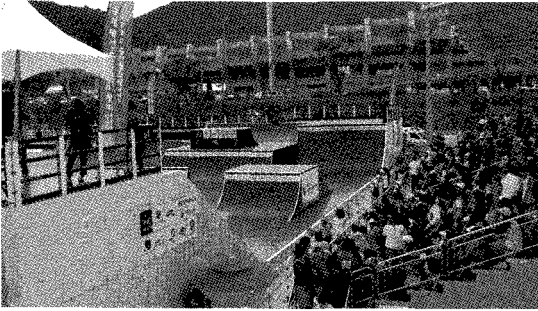


写真5 世界初のアクションスポーツB3用
常設スラローム場

レイクダンス)、ジョック(韓国発祥のフットバレーボール)の国際・国内大会や体験イベントが行われた。このワールドレジャーゲームズには、67カ国14,927人が参加し、世界レジャー会議と合わせると、参加者は76カ国18,567人、観客延べ97万人、ボランティア1,800人となり、ソウル市の水源地のため工場を建てることが規制されている春川市の地域おこし策としても成功を収めた。参加国の大陸別内訳は、アジア24カ国、ヨーロッパ35カ国、アメリカ10カ国、アフリカ5カ国、オセアニア2カ国であった。春川市は、このワールドレジャーゲームズのために1000億ウォン(約70億円：1ウォン=0.07円で換算)以上を投じて世界初のB3用常設スラローム場や国際規格のスポーツクライミング場などの施設を作り、今後も春川市のイベントとして2年毎に継続開催して春川市を世界的なレジャー都市として発展させていく予定だと発表している。また、韓国政府もソウルからの高速道路と鉄道など交通インフラを新たに整備するなどの支援を行っている。

孫殷男(SON, Eun-nam)大会組織委員長の報告によると、今回の3つのイベントの総運営経費は147億ウォン(約10.3億円：1ウォン=0.07円で換算)で、その内訳は会議21億ウォン(約1.5億円：14.3%)、競技会43億ウォン(約3億円：29.2%)、展示会20億ウォン(約1.4億円：13.5%)、広報・イベント経費41億ウォン(約2.9億円：28.0%)、事務局運営費22億ウォン(約1.5億円：15.0%)で、韓国政府が約26億ウォン(約1.8億円：17.7%)、江原道(日本の県にあたる行政区分)24億ウォン(約1.7億

円：16.4%)、春川市が97億ウォン(約6.8億円：65.9%)を負担した一大プロジェクトであったといえる。

世界レジャー機関は、今後下記の世界レジャー会議の開催を決定している他、第2回世界レジャー博覧会を第1回が開催された中国杭州市(Hangzhou)で2011年9月17日～11月18日に開催する予定である。

2012年 第12回世界レジャー会議

イタリア リミニ市(Rimini) 9/30-10/3

2014年 第13回世界レジャー会議

アメリカ アラバマ州 モービルベイ

(Mobile Bay, AL)

1964年10月2日～7日に大阪・京都で世界レクリエーション大会を開催して以来、日本で大規模な国際レジャー・レクリエーション研究大会は開催されていない。日本のレジャー・レクリエーション研究の質の向上と国際化のために、アジアですでに4回も開催された世界レジャー会議を近い将来日本で開催することが望まれる。

参考文献・URL

世界レジャー機関(WLO)

www.worldleisure.org

第11回世界レジャー会議春川市組織委員会

www.worldleisure2010.org

第12回世界レジャー会議リミニ組織委員会

www.worldleisure2012.org

第2回世界レジャー博覧会

www.wl-expo.com

韓国レジャー・レクリエーション学会(KSLR)

<http://kslr.sportskorea.net/English/intro01.jsp>

韓国スポーツ・レジャー学会(KSSLS)

www.kssls.org/English/intro.jsp

「第1回世界レクリエーション大会報告書」(財)日本レクリエーション協会, 1964